

令和8年度～令和17年度
さとうきび増産に向けた取組目標及び取組計画（3期）

北大東島

策定主体：北大東村さとうきび増産プロジェクト会議

地域において目指す姿

本村は、四方を海で囲われ且つ沖縄本島からも遠く離れた離島下で農業を基軸とした産業構造が形成されており、さとうきび作を中心に馬鈴薯やカボチャとの輪作が行われていてさとうきびが全体の95%を占めている。

島の面積は、1,194km²（周囲13.5km）と狭小であるが、耕地面積は約533haである。

島は、珊瑚環礁が隆起したもので、島の中央部は盆地状になっており大小20個の沼や湿地が散在している。盆地の周りを小高い丘が取り囲んでおり、盆地の外側を幕外（幕上）、盆地の内側を幕内（幕下）とよんでいる。地質は石灰岩からなり通気性の良い軽しょう土となっている。

島の産業は、第2次産業及び第3次産業が多いものの、実質的にはさとうきびを中心とする農業で成り立っている島であることから今後とも各種基盤整備や近代化施設の整備及び農地の集約化などにより農業経営基盤を強化し、農業が職業として魅力を持つものとなるよう効率かつ安定的な農業経営の育成に努めていく。

増産計画目標

(1) 生産目標

	収穫面積 (ha)				単収 (t/10a)				生産量 (t)				
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
R6年度策定時	30.5	58.1	323.5	412.2	11.3	6.3	6.2	6.6	3,450.6	3,672.8	20,188.2	27,311.6	
R8年度	目標	40.0	60.0	310.0	410.0	8.5	5.5	6.1	6.2	3,400.0	3,300.0	18,910.0	25,610.0
R9年度	目標	40.0	60.0	310.0	410.0	9.0	5.5	6.1	6.3	3,600.0	3,300.0	18,910.0	25,810.0
R10年度	目標	40.0	60.0	310.0	410.0	9.5	5.6	6.2	6.4	3,800.0	3,360.0	19,220.0	26,380.0
R17年度	目標	40.0	50.0	320.0	410.0	11.0	5.8	6.3	6.7	4,400.0	2,900.0	20,160.0	27,460.0

(2) 担い手育成目標

	区分	区分		
		認定農業者	受託組織	大規模生産農家
R6年度策定時		27	1	3
R8年度	目標	27	1	3
R9年度	目標	27	1	3
R10年度	目標	27	1	4
R17年度	目標	27	1	5

※大規模農家とは収穫面積10ha以上の農家とする。

(3) その他地域で独自に設定する目標

		-	-	-	-
R6年度策定時		-	-	-	-
R8年度	目標	-	-	-	-
R9年度	目標	-	-	-	-
R10年度	目標	-	-	-	-
R17年度	目標	-	-	-	-

(4) 分析と評価

① 2期計画で挙げた課題

- ・単収向上のため、適期の植付や株出管理の作業体制の構築。①
- ・優良種苗の生産技術の普及及び生産体制の構築。②
- ・適期の病害虫防除の推進及び作業体制の構築。③
- ・人的不足による管理作業の遅れ。④
- ・担い手の経験不足による作業精度の低下。⑤

② ①で挙げた課題に対して解決に向け取り組んだ内容

- ・受託体制を構築し、収穫、管理作業、植付けなどと幅広く対応し、オペレーターについては専業農家を中心に確保している。①、④
- ・プラソイラー等による深耕および堆肥センターを活用した土づくりを推進。①
- ・貯水池等の農業用水源の確保や、かんがい施設、ほ場整備、防風・防潮林等の基盤整備①
- ・収量の増加および作業効率を上げるため、夏植一株出体系を推奨。①
- ・早期高糖性及び台風・干ばつ等に強い品種をさとうきび優良種苗安定確保事業を活用して推奨している。②
- ・事業を活用した適期の病害虫防除や農薬購入費の助成を行っている③
- ・オペレーター育成（作業制度の向上）の一貫として植付については、自動操舵システムを導入している⑤

③ ①で挙げた課題のうち②により解決した課題

- ・単収向上のため、適期の植付や株出管理の作業体制の構築。

④ ①で挙げた課題のうち解決できなかった課題とその要因

受託体制は構築できたものの収穫期については収穫作業に集中することから不足しているのが現状である。

⑤ 新たに生じた課題

- ・担い手の育成および農地の継承。（人材確保、農地中間管理機構などの活用）
- ・機械化一貫体系をより推進するため、スマート農業に積極的に取り組む。
- ・作業受託体制の強化に取り組み各作業を円滑に行えるよう地域一貫となり取り組む。

⑥ 令和17年産目標に向けた現状評価及び見通し

- ・今後、高齢化が進む中で畑の維持（生産）管理をどのようにしていくか、全体として話し合いを持ち、取組んでいく必要がある。
- ・認定農業者については高齢化が進んでいる中、再々認定又は再々々認定になる可能性が高いことから目標値を高くすることは困難である。したがって、早期の後継者育成を図り認定農業者を維持していく。
- ・受託組織についてはこれまでの取組を検証し、受託体制について再度検討を行う。
- ・大規模生産農家については、現状を維持していく。

(5) 地域重点事項（地域独自で取り組んでいる重点事項を記載）

- ・適期の肥培管理を推進するため、受託体制機能を強化する。（作業オペレーターの育成、確保）
- ・土壌専門家と連携し、農家への理解に努め、土づくりの促進を図る。

(6) 以下の項目のうち重要（特に議論すべき）と考える項目を3つ程度選択して✓を入れて下さい。

1 経営基盤の強化

- 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保
- 農業共済制度への加入促進

2 生産基盤の強化

- 気象災害に強い生産基盤の整備
- 機械化一貫体系の確立
- 地力の増進

3 技術対策

- 病虫害防除
- 台風・干ばつ対策
- 優良品種の選択・普及

4 その他（自由記述）

※✓した項目については、OPの「～～」を作成する

目標達成に向けた取組計画

I 経営基盤の強化

① 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保

【現状】

	H27	R元	R6
認定農業者数	46	20	27
さとうきび収穫面積	371	392	412

- ・ 担い手の数：認定農業者27戸

<作業受託組織の受託業務>

- ・ 収穫、管理作業、植付けなどと幅広く対応している。
- ・ オペレータについては専業農家を中心に確保している。ただし、収穫期については収穫作業に集中することから不足しているのが現状である。

<作業受委託の調整の仕組み>

- ・ JAにて、作業申し込みを行い、作業を振り分けている。また、農家から直接受けた依頼についても作業後、JAに報告することで作業委託を一箇所で管理している。

<地域計画>

- ・ R5年度に検討会を4回程度開催し、R6.3.29に策定済み。

【課題】

- ・ オペレータ不足の影響で適期の植付、管理が出来ていない状況にある。
- ・ 受託体制は構築できたものの収穫期については収穫作業に集中することから人材が不足している。
- ・ 兼業率が高いことや高齢化が進んできている中で機械化による省力化が求められている。農業機械等を計画的に事業導入し省力化を図る必要がある。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 地域での機械導入について各事業所が連携し、機械導入計画を作成。（役場・製糖工場・JA北大東支店）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

スマート農業に関する基礎調査（試験）を実施する予定。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

地域計画を基に農地中間管理機構を活用し農地の継承・集積などを進め、さとうきびの担い手の育成・確保を図る。

【自由記述欄】 ※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイディア、要望等

目標達成に向けた取組計画

I 経営基盤の強化

② 農業保険の加入促進

【現状】

〈畑作物加入状況〉

	H27	R元	R6
加入戸数（戸）	91	62	16
戸数加入率（％）	80.5	57.9	16.2

〈収入保険制度加入状況〉

	H27	R元	R6
加入戸数（戸）	0	29	64
戸数加入率（％）	0	27.1	64.6

〈加入促進の取組状況〉

- ・ さとうきび共済については、掛け金の一部助成を実施している。
- ・ 未加入者などの情報提供及び情報をさとうきび共済組合と共有している。

R6年加入状況

さとうきび共済 16戸
収入保険 64戸
合計80戸 加入率80.8%

【課題】

- ・ 農業保険への理解度の低迷。
- ・ 農業保険加入率の維持拡大支援対策を図る事が必要。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 農家対象集会等で共済制度の普及及び加入促進を実施した。（農業共済、役場、JA北大東支店、県）
- ・ 重点支援地方交付金を活用し、共済掛金などの農家個人負担を軽減し加入増加につなげた。（役場）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

収入保険制度の仕組み等の講習会を関係者で行い、チラシ等での周知と併せて内容のフォローを実施する。

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 加入農家の掛金支援を検討し、加入促進を図る。
- R12目標値：さとうきび共済15戸、収入保険70戸 戸数加入率 85%

【自由記述欄】※例) 国補正事業(生産対策)のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

① 気象災害に強い生産基盤の整備

【現状】

< 農業基盤整備の状況（令和6年度） >

- ① 土地基盤整備率： 97%
- ② 畑地灌漑整備率： 100%
- ③ 水源整備率： 100%

土地基盤整備、畑地灌漑整備、水源整備は概ね100%と整備が進んでいる。
ただし、地区により貯水量に偏りがあるため貯水池間を連結し、全体が安定的に使用できる整備が望まれる。

【課題】

- ・ 島外周の保安林地帯については、岩礁地帯は課題があり取組が厳しい状態にある。
- ・ 点滴灌水を実施するにあたり、ホースの敷設・回収の作業が労力を要するため灌水作業が十分ではない。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 島外周保安林地帯（岩礁地）への植栽（県・役場）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ 保安林内の造林を予定している。（30a～50a）
- ・ 地中灌水の実証試験を予定している。

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 防風・防潮林の整備を進めるため村の整備計画に基づき推進していく。
- R12目標値：土地基盤整備率100%、畑地灌漑整備率100%、水源整備率100%
- ・ 労働力削減に向け、地中灌水の導入を推進する。

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

② 機械化一貫体系の確立

【現状】

<さとうきび機械保有状況>

	H27	R元	R6
ハーベスタ（大型）	3	2	2
ハーベスタ（中型(ワンマン)）	4（1）	5（1）	6（1）
ハーベスタ（小型）	1	0	0
株出管理機	3	5	5
プランタ（自動式）	2	2	2
プランタ（全茎式）	9	6	7
機械収穫率	100%	100%	100%

当初の計画に基づいて中型ハーベスタを推進してきたが夏植えの適期植付けが出来るようになったこともあり、夏植えの単収が10+以上となってきたため、中型ハーベスタでの収穫が難しくなってきたので大型ハーベスタの導入が必要である。地域での機械導入については各事業所が連携し、機械導入計画（R6年度作成済）をもとに整備を進めていく。

【課題】

- ・ 植付および株出管理作業のオペレータの不足。
- ・ 夏植えて恒常的に単収が10トン以上となり、中型ハーベスタでの収穫が難しくなっているため対策として大型ハーベスタの導入も検討する必要がある。
- ・ 自動プランタによる植付けが主流となっているので種きり用のハイダンプ（種付タンク）を整備する必要がある。
- ・ 作業機械の保管倉庫が老朽化や不足により、維持管理が困難。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 事業を活用して、ハーベスタやハイダンプ、保管倉庫等を整備する。（役場、製糖工場、JA北大東支店）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃の実施する予定の取組を記載

- ・ 大型ハーベスタ・搬出機を各1台、整備に向け取り組んでいる。（R7年度実施（R6補正））
- ・ スマート農業に関する基礎調査・実証試験に取り組んでいる。

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 農業青年クラブや農業機械士会などの組織活動を再開させ、若手農家を育成しやすい環境を整える。
- ・ 大型ハーベスター及び搬出機・農薬散布ドローンなどのスマート農業に対応した農業機械を計画的に導入する。
- ・ 保管倉庫の整備

くさとうきび機械稼働目標（R12）	
ハーベスタ（大型）	3
ハーベスタ（中型(ワンマン))	4(1)
株出管理機	5
プランタ（自動式）	2
プランタ（全茎式）	5

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

- ・ 保管倉庫を整備する事業メニューについて要望する。

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

③ 地力の増進

【現状】

- ・ 地力増進については、精脱葉処理施設からのトラッシュ等や製糖工場からのフィルターケーキ・糖みつ・バガスを主原料とした有機物還元を行っている。
- ・ 平成24年度から土壌調査に取組み、ほ場カルテを作成し、農家にフィードバックしている。
- ・ 土層改良事業による堆肥の投入を平成29年度から取り組んでいる。

〈令和6年度堆肥投入実績〉

バカス堆肥（村内生産）

春植え：366 t（12.59ha）

夏植え：237 t（6.22ha）

合 計：488 t（24.67ha）

さとうきび生産性向上緊急支援事業

堆肥（夏植え）：396 t（8.84ha）

緑肥（夏植え）：0.1 t（1.41ha）

鶏糞（春植え、株出）：190 t（253.7ha）

【課題】

・ 畜産がない為、製糖工場からの製糖副産物以外の有機物の投入は輸送コストがかかり、農家負担が大きくなるため営農努力では困難な状況にある。

【課題に対応した取組及びその実施者】

生産性向上支援事業を活用し、夏植え圃場の堆肥投入や春植・株出に対する鶏糞肥料の購入助成を行い地力増進への取り組みを行っている。（役場、製糖工場、JA北大東支店）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

製糖副産物を原料とした堆肥施設を新設し、有機物還元に取り組む。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 生産性向上支援事業を活用した、堆肥投入や鶏糞肥料の購入助成を継続的に行っていく。
- ・ 土層改良事業を継続的に実施し、地力増進を図る。

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

- ・ 生産性向上支援事業の予算について補正予算から当初予算での確保について要望。

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

① 病虫害防除

【現状】

<病虫害被害状況>

- ・カンシャシクイハマキ : 全域
- ・バッタ (タイワンツチイナゴ・トノサマバッタ) : 全域
- ・サトウキビチビアザミウマ : 全域
- ・カンシャコバネナガカメムシ (ガイダー) : 全域
- ・アワヨトウ : 全域

上記の病虫害被害が毎年、散見されている状況。

これまで大型送風散布機などで一斉防除等に取り組んできたがドリフトなどの課題により大型散布機使用が難しい環境となってきた。

【課題】

- ・ バッタ類は干ばつ時に大発生し易いため、干ばつ時には注意が必要
- ・ カンシャコバネナガカメムシやサトウキビチビアザミウマは発生初期に防除。（適期の防除）
- ・ 雑草防除と肥培管理の徹底

【課題に対応した取組及びその実施者】

セーフティー事業や生産性向上緊急支援事業などを活用し、病虫害対策として農薬購入費の助成を行う。（役場、JA北大東支店）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ 病虫害防除及び雑草防除・肥培管理について啓発を行う。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ スマート農業を推進し、ドローンによる農薬散布による適期の防除が行える環境を整える。

【自由記述欄】 ※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

② 台風・干ばつ対策

【現状】

【台風対策】

- ・ 土地改良事業での防風林設置は事業計画を基に農家と調整を行い、防風林の設置を積極的に行っている。
- ・ 保安林の造林事業では、保育事業を取り入れ防風林の充実を図っている。
- ・ 防風林用の苗木を村の施設で生産し、農家に提供している。

【干ばつ対策】

- ・ 本村では農業用水が十分でないため、干ばつ対策として保水材等の新資材などの導入についても検討している。

【課題】

- ・島が狭小で台風接近による潮風害が常襲となっている。
- ・整備された貯水池は83万トンの容量があるが水源は降雨頼みであり常に満水とは限らない。また、地区によって貯水量に偏りがあるため平等に使えないことがある。
- ・かん水用ホースの敷設・回収にかかる労力。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・干ばつ対策として保水材等の新資材などの導入を検討している。（役場、製糖工場、JA北大東支店）
- ・造林事業を活用して、保安林への植林。（役場・県）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・保安林内の造林を予定している。（30a～50a）
- ・地中灌水の実証試験を予定している。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・労働力削減に向け、地中灌水の導入を推進する。
- ・干ばつ対策として保水材等の新資材の実証を行い、導入を検討していく。
- ・貯水池をループ化し、平等に農業用水が使えるよう整備する。

【自由記述欄】 ※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

③ 優良品種の選択・普及

【現状】

品種割合については、R6/7年産ではNi27（42.7%）、Ni29（13.9%）、Ni26（12.2%）が上位となっている。

早期高糖性の品種を中心に耐風性や潮害からの回復なども考慮しながら1品種に偏らないよう普及に努めている。

<品種別収穫面積の推移>

単位：ha

品種	Ni27	Ni29	Ni26	NiN30	KY99-176	その他
H27	2.0	3.3	22.4	28.1	0.0	315.0
R元	59.2	34.8	36.4	107.2	0.0	154.8
R6	176.3	64.9	50.3	46.4	23.4	50.8

【課題】

- ・ 圃域特性に応じた品種の評価・選定
- ・ 圃種特性に応じた導入
- ・ 原苗ほの設置体制の構築と安定供給

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 原苗ほの安定的運営。（役場、製糖工場）
- ・ 圃種特性の理解を深めるための情報の共有と広報活動。（役場、製糖工場、JA北大東支店、県）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ 安定的な原苗圃の運営を図り、健全苗の安定的な供給に取り組む。

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 株出し萌芽性の良い品種、早期高糖多収性品種などを導入していく。
- ・ 再苗圃を設置し、健全苗の供給に取り組む。

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア要望等

—

重点課題における関係者の役割分担と実施状況 ※令和7年度に3期目計画を立てる際は、右側の「今年度の具体的な取組計画」のみ記入。

重点項目： 機械化一貫体系の確立

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
北大東村					収穫機械の導入に係る予算調整等	大型ハーベスタ・搬出機の導入
普及センター					—	—
JA					収穫機械の導入	大型ハーベスタ・搬出機の導入
北大東製糖工場					—	—
北大東さとうきび糖業振興会					—	—

重点項目： 地力の増進

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
北大東村					<ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌カルテ作成及び農家ヒヤリング ・ 土層改良事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌分析を行い、結果を基にpH改善や施肥設計などを提案する。 ・ pH調整などを行うとともに土壌の硬盤化を改善する。
普及センター					<ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌分析の実施を農家に周知し、要望に応じてpHの測定を行う。 ・ 土壌専門医と連携し、土壌分析に基づいた施肥指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ pHの低い圃場には細砂によるpH矯正を推奨する。 ・ 土壌専門医と連携し、土壌分析に基づいて、有機物施用の推奨、肥料コスト低減に向けた施肥方法の提案を行う。
JA					—	—
北大東製糖工場					・ 希望する農家に対し圃場への糖蜜散布を行う。	・ 糖蜜散布による施肥費用の削減を図る。
北大東さとうきび糖業振興会					—	—

重点項目： 病虫害防除

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
北大東村					—	—
普及センター					広報誌等で病虫害情報を農家に周知し、病虫害防除の軽春を図る。	病虫害の発生初期に速やかに農家に情報を発信し、防除の啓発に努める。
JA					—	—
北大東製糖工場					—	—
北大東さとうきび糖業振興会					病虫害防除にかかる農薬購入費の助成を行う。	病虫害の蔓延を防ぎ被害の軽減を図る。

さとうきび関係事業の活用実績（R7年度～）

【国補正事業（生産対策）】

事業年度	取組内容	計画額	うち補助金	実績額
R6補正・3次公募	病虫害防除薬剤購入助成	13,374,532	8,105,000	5,269,532
-	-	-	-	-

【セーフティネット事業】

事業年度	取組内容	計画額	うち補助金	実績額
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

【実証・研究事業（国事業・県事業）】

事業年度	事業名	取組内容	総事業費	補助金	その他
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

【機械導入（国事業・県事業）】

事業年度	事業名	導入機械	総事業費	補助金	その他
R6補正 1次公募	さとうきび生産性向上緊急支援事業	大型ハーベスタ、搬出機	118,780,200	86,383,000	32,397,200

【市町村単独事業】

事業年度	市町村名	事業名	取組内容	予算額	実績額
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

(参考情報①)

1. 県(島)の概況、農業・さとうきび作の位置づけ等

北大東島は、沖縄本島の東方約360kmに位置しており、約110年前(明治33年)に八丈島出身の玉置半右衛門によって開拓された島である。島の面積は、1,194km²(周囲13.5km)と狭小であるが、耕地面積は約588haである。島は、珊瑚環礁が隆起したもので、島の中央部は盆地状になっており大小20個の沼や湿地が散在している。盆地の周りを小高い丘が取り囲んでおり、盆地の外側を幕外(幕上)、盆地の内側を幕内(幕下)とよんでいる。地質は石灰岩からなり通気性の良い軽しょう土となっている。島の産業は、第2次産業及び第3次産業が多いものの、実質的にはさとうきびを中心とする農業で成り立っている島である。さとうきび以外の作物として近年馬鈴薯・カボチャが栽培されるようになったが、依然としてさとうきびが全体の約95%を占めている。

2. さとうきび生産の現状

生産の現状
令和6/7年産の当初の生産目標は、収穫面積400ha、単収6.1t/10a、生産量24,520tを計画しており、実績として収穫面積は412.1ha、単収6.6t/10a、生産量27,311tと生産量は目標を上回った。北大東村は、かんがい施設等の整備の推進、堆肥や糖蜜等の散布、精脱葉施設から出されるトラッシュ利用などによる土づくりの推進が図られ、H28/29年産以降、2万7千tを超え、その後2万t以上を維持している。

【近年の作物別作付面積の動向】

(1) 作物別作付け面積の動向

	耕地面積	作付面積	耕作放棄地	さとうきび	かんしょ	水稻	野菜	飼料作物	その他
H17	560	374	-	350	-	-	-	-	24
H18	560	448	-	409	-	-	-	-	39
H19	560	476	-	437	-	-	-	-	38
H20	558	436	-	443	-	-	-	-	20
H21	558	468	-	453	-	-	-	-	14
H22	558	466	-	450	-	-	-	-	15
H23	555	457	-	440	-	-	-	-	15
H24	555	463	-	446	-	-	-	-	16
H25	542	463	-	444	-	-	-	-	19
H26	542	466	-	446	-	-	-	-	19
H27	554	454	-	432	-	-	-	-	22
H28	577	462	-	137	-	-	-	-	25
H29	588	464	-	443	-	-	-	-	20
H30	588	456	-	435	-	-	-	-	20
R元	588	457	-	441	-	-	-	-	15
R2	588	449		432					15
R3	588	443		430					12
R4	565	475		460					13
R5	565	462		448					13
R6	565	457		443					13

(2) さとうきびの収穫面積、単収、生産量、糖度の推移

	収穫面積 (ha)				単収 (t/10a)				生産量 (t)				糖度
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
H17	21	83	148	252	35	26	22	25	750	2,189	3,253	6,192	-
H18	33	144	183	360	48	43	34	39	1,577	6,237	6,175	13,989	-
H19	34	103	275	412	65	53	52	54	2,194	5,496	14,413	22,103	-
H20	15	100	304	419	69	55	57	57	1,022	5,493	17,453	23,968	-
H21	15	97	309	421	54	33	37	37	821	3,218	11,543	15,582	-
H22	11	88	306	405	55	41	43	43	632	3,610	13,295	17,537	-
H23	28	106	259	393	51	37	34	36	1,451	3,957	8,705	14,113	-
H24	32	88	277	397	52	28	35	35	1,671	2,486	9,795	13,952	-
H25	27	78	275	380	49	35	32	34	1,316	2,785	8,683	12,784	-
H26	30	71	278	379	53	21	28	28	1,601	1,461	7,722	10,784	-
H27	23	63	285	371	72	40	34	37	1,633	2,507	9,701	13,841	-
H28	43	77	256	376	107	67	68	72	4,626	5,120	17,350	27,096	-
H29	50	57	290	397	89	45	47	52	4,453	2,577	13,546	20,576	-
H30	25	54	309	388	91	59	55	58	2,252	3,195	16,882	22,329	-
R元	35	64	293	392	118	67	7	74	4,145	4,320	20,477	28,942	-
R2	38	54	312	404	107	56	66	69	4,035	3,041	20,648	27,724	
R3	27	46	318	391	97	62	56	59	2,673	2,821	17,682	23,176	
R4	37	67	301	405	98	47	55	58	3,688	3,132	16,621	23,441	
R5	31	57	312	400	85	55	47	51	2,660	3,125	14,602	20,387	
R6	31	58	323	412	112	63	62	66	3,450	3,673	20,188	27,311	

(参考情報②)

【年齢階層別農家戸数】

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
H17	-	-	-	-	-	-	0
H18	-	-	-	-	-	-	0
H19	-	-	-	-	-	-	0
H20	-	4	31	38	25	-	98
H21	-	-	-	-	-	-	0
H22	-	3	20	45	38	-	106
H23	-	5	16	43	41	-	105
H24	-	6	17	40	46	-	109
H25	-	6	18	41	47	-	112
H26	1	4	16	43	47	-	111
H27	2	3	11	42	53	-	111
H28	2	3	11	42	52	-	110
H29	1	2	8	43	50	-	104
H30	2	2	9	35	54	-	102
R元	2	2	7	34	58	-	103
R2	3	4	6	31	55	-	99
R3	2	5	6	32	55	-	100
R4	4	3	10	29	56	-	102
R5	2	4	10	28	57	-	101
R6	2	4	10	27	57	-	100

【経営（収穫）規模別農家戸数】

	100a未満	100～300a 未満	300～500a 未満	500a以上	合計
H17	12	35	34	8	89
H18	10	32	37	20	99
H19	7	46	39	25	117
H20	6	45	41	24	116
H21	5	43	42	26	116
H22	7	47	34	28	116
H23	6	44	34	26	110
H24	9	42	39	23	113
H25	9	45	37	22	113
H26	6	44	42	19	111
H27	9	41	39	22	111
H28	8	45	35	22	110
H29	5	36	32	31	104
H30	6	35	28	33	102
R元	8	32	32	31	103
R2	5	28	35	32	100
R3	7	26	39	29	101
R4	6	31	34	32	103
R5	5	29	30	37	101
R6	10	26	29	35	100

【製糖工場の操業状況】

	操業率 (%)	操業期間 (日)	歩留 (%)	トラッシュ率 (%)
H17	17.2	19.3	9.74	24.29
H18	38.86	40.6	10.95	19.34
H19	61.4	59.9	11.16	16.19
H20	66.58	65.2	13.57	14.59
H21	43.28	45.7	11.9	20.14
H22	48.71	45.8	9.84	14.02
H23	39.2	46.2	12.32	23.76
H24	38.75	42.9	12.59	18.73
H25	35.51	41.3	12.1	19.91
H26	29.96	35.8	11.35	25.29
H27	38.45	45.3	11.39	25.95
H28	75.27	71.2	12.14	12.3
H29	57.16	54.6	11.28	13.61
H30	62.03	62.9	11.84	12.81
R元	80.4	78.7	10.97	12.35
R2	77.01	75.9	10.46	14.38
R3	64.4	67	10.63	14.8
R4	65.1	92	10.77	14.72
R5	56.6	87	11.45	13.83
R6	75.9	77	11.16	12.33

(参考情報③)

【作業受託組織の状況】

	農作業受託組織数			農作業受託調整組織の有無と役割		
	合計	組織	個人	有無	名称	役割
R7	1	1		有	沖縄県農業協同組合 北大東支店	作業受付 割り振り 料金徴収

【作業委託料金】

作業名	料金	料金の設定方法及び島内の料金体系	備考
収穫	0	—	—
植付	0	—	—
株出管理	0	—	—
防除	0	—	—
その他	0	—	—

(参考情報④)

【畑地かんがいの整備状況】

	貯水施設		畑地かんがい 整備率	かん水方法			畑地かんがい整備の現状と 整備率向上に向けた今後の取組
				形態	使用料金	使用条件等	
R7	地下ダム	—	—	—	—	—	—
	ダム	—	—	—	—	—	—
	ため池	23か所	100%	Ⅱ型（点滴灌漑）	30円/m ³	使用する曜日を設定	—
	その他	—	—	—	—	—	—

(参考情報⑤)

【共済加入目標】

	H26	R6	R7	R8	R9	R12	R17
有資格戸数	112	101	101	101	101	101	101
加入戸数	92	16	16	16	15	15	15
戸数引受率	82.1%	15.8%	15.8%	15.8%	15.0%	15.0%	15.0%
対象面積(ha)	379.8	400	400	400	400	400	400
引受面積(ha)	360.3	64	64	64	60	60	60
面積引受率	94.9%	16.0%	16.0%	16.0%	15.0%	15%	15%
支払金額(千円)	60,985	—	—	—	—	—	—

【収入保険制度への加入目標】

	H30	R6	R7	R8	R9	R12	R17
有資格戸数	98	101	101	101	101	101	101
加入戸数	62	64	64	65	66	70	70
引受面積(ha)	217.4	286.6	286.6	287	290	300	300
面積加入率	57.2%	71.7%	71.7%	72.0%	72.5%	75%	75%

(参考情報⑥)

【作型別割合】

	夏植	春植	株出し
H17	8.52	32.89	58.58
H18	9.15	39.95	50.90
H19	8.14	25.07	66.78
H20	3.54	23.79	72.67
H21	3.63	23.00	73.37
H22	2.83	21.65	75.52
H23	7.25	26.89	65.86
H24	8.08	22.18	69.73
H25	7.10	20.64	72.27
H26	8.01	18.69	73.30
H27	6.08	17.09	76.83
H28	11.46	20.39	68.15
H29	12.66	14.44	72.91
H30	6.34	13.93	79.72
R元	8.99	16.37	74.65
R2	9.32	13.46	77.22
R3	7.03	11.64	81.33
R4	9.30	16.49	74.21
R5	7.85	14.22	77.93
R6	7.41	14.09	78.50
R17(目標)	9.76	14.63	75.61

【株出し回数別面積】

	株出し回数別面積 (ha)											平均回数
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回		
H17	85.8	50.5	8.2	2.4	0.6	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	1.52	
H18	133.2	42.5	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	1.31	
H19	180.5	83.0	7.8	3.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	1.40	
H20	143.2	137.3	22.6	0.9	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	1.61	
H21	119.5	116.5	66.4	5.7	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.87	
H22	124.3	92.8	64.3	21.1	1.8	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.98	
H23	106.7	100.7	36.1	13.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.85	
H24	143.4	87.4	38.6	5.6	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.68	
H25	126.4	116.0	21.2	9.1	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.71	
H26	115.5	101.1	55.7	4.0	1.8	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.84	
H27	115.6	97.2	57.4	12.5	1.2	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.91	
H28	96.5	99.0	47.4	12.8	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.92	
H29	121.4	87.0	66.9	9.2	4.7	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.93	
H30	113.4	112.8	50.1	26.3	4.3	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.04	
R元	82.8	109.8	76.8	14.2	7.6	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.18	
R2	105.2	83.6	74.4	37.3	5.7	3.1	1.2	1.3	0.0	0.0	2.28	
R3	99.5	96.7	59.7	41.4	15.1	3.3	1.5	0.8	0.0	0.0	2.36	
R4	80.7	91.3	72.9	26.5	21.7	4.8	2.3	1.0	0.0	0.0	2.49	
R5	107.0	72.5	67.1	37.0	11.6	12.6	1.7	2.7	0.0	0.0	2.46	
R6	95.7	100.9	57.0	29.6	23.9	7.6	8.0	90.0	0.0	0.0	3.70	
R17	100.0	100.0	60.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.19	

(参考情報⑦)

【近年の品種別収穫面積の推移】

作型	夏植						春植						株出し						合計					
	Ni27	KY99-176	Ni29	Ni26	NiN30	その他	Ni27	Ni26	KY99-176	Ni29	NiN30	その他	Ni27	Ni29	NiN30	Ni26	KY99-176	その他	Ni27	Ni29	Ni26	NiN30	KY99-176	その他
H17	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	147.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	252.1
H18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	143.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	183.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	359.5
H19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	103.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	274.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	411.3
H20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	99.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	304.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	418.5
H21	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	14.8	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	95.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	308.7	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	418.6
H22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.7	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	304.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	403.1
H23	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	27.4	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	105.1	0.0	0.5	0.0	0.9	0.0	257.3	0.0	0.5	2.6	0.0	0.0	389.8
H24	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	31.5	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	84.8	0.0	0.5	0.0	1.4	0.0	275.0	0.0	0.5	5.2	0.0	0.0	391.3
H25	0.0	0.0	0.5	0.6	0.0	25.9	0.0	3.4	0.0	0.6	0.0	74.4	0.0	0.1	0.0	5.5	0.0	269.2	0.0	1.1	9.6	0.0	0.0	369.5
H26	0.0	0.0	0.0	1.3	3.4	25.7	0.0	4.3	0.0	1.2	6.3	59.2	0.1	0.5	0.0	7.4	0.0	270.5	0.1	1.7	13.0	9.7	0.0	355.4
H27	1.8	0.0	0.1	2.4	8.2	10.1	0.1	8.1	0.0	0.6	6.5	48.1	0.2	2.6	13.4	11.9	0.0	256.7	2.0	3.3	22.4	28.1	0.0	315.0
H28	2.8	0.0	3.4	4.4	10.1	22.4	5.7	8.7	0.0	0.0	8.5	53.7	2.0	3.0	26.0	19.8	0.0	205.6	10.5	6.4	32.9	44.6	0.0	281.7
H29	4.2	0.0	1.0	5.1	22.7	17.0	7.7	1.3	0.0	5.4	14.7	28.4	10.6	5.2	44.1	25.6	0.0	204.2	22.5	11.6	32.0	81.5	0.0	249.6
H30	2.8	0.0	5.6	1.2	10.1	5.0	11.4	3.9	0.0	6.2	14.0	18.6	21.9	12.1	66.1	25.2	0.0	184.3	36.1	23.9	30.2	90.2	0.0	207.8
R元	7.3	0.0	12.6	1.6	10.8	3.0	18.7	10.4	0.0	2.7	13.2	19.4	33.3	19.6	83.3	24.3	0.0	132.5	59.2	34.8	36.4	107.2	0.0	154.8
R2	18.7	0.0	1.7	1.7	13.7	1.9	22.3	3.8	0.0	2.6	12.3	13.4	53.8	35.0	87.1	28.6	0.0	107.4	94.8	39.3	34.1	113.1	0.0	122.6
R3	7.9	0.0	2.5	1.9	13.1	2.1	20.4	3.8	0.0	5.3	11.3	4.7	88.8	32.5	86.7	27.8	0.0	82.2	117.0	40.4	33.6	111.1	0.0	88.9
R4	15.0	0.0	6.0	6.8	7.1	2.8	38.9	8.5	1.7	5.7	2.9	9.2	104.7	27.0	88.5	26.9	0.0	54.0	158.6	38.8	42.1	98.5	1.7	66.0
R5	8.6	3.0	13.2	2.4	3.0	1.3	31.3	7.1	2.4	11.5	1.2	3.3	131.0	30.9	67.3	36.3	2.1	44.6	171.0	55.6	45.8	71.5	7.5	49.2
R6	8.9	8.2	6.1	3.1	2.1	2.2	25.0	7.1	5.9	5.3	3.9	10.9	142.4	53.6	40.4	40.1	9.4	37.8	176.3	64.9	50.3	46.4	23.4	50.8